

私立 東京都市大学

少人数専門教育と『攻めのインターンシップ』による就職支援

| | |
|------|---------------------------|
| 取組期間 | 2009(平成21)年度～2011(平成23)年度 |
| 区分 | 学生支援推進プログラム |
| 所在地 | 〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 |
| 設置者 | 学校法人 五島育英会 |

取組内容とその成果

プログラムの目的及び内容

東京都市大学が1929（昭和4）年の創設以来、80余年にわたって培ってきた少人数専門教育の実績に、『攻めのインターンシップ』というキーコンセプトを加えることで、総合大学としての学士力と就職力の向上とを目指すものである。

本プログラムの諸施策は、単に大学側が一方向的に学生に提供するものではなく、教職員、学生、そして卒業生までもが一体となった取組であることに、その特色がある。本学がこれまで営々と積み重ねてきた少人数専門教育の豊かな実りであり、かつ本学の誇りであるところの優れた卒業生たちと密な連携を取りながら、教職員が新たな就業体験先（インターンシップ受入企業）を開拓、学生たちが自ら選んで就業体験を行う、『攻めのインターンシップ』は、全学一体を象徴する施策といえる。

これと同時に本プログラムでは、オリジナリティ溢れるキャリアデザイン講座を開講、講師の育成も含めてその充実を図ってきた。さらに、こうした施策の実効性を高めるため、就職担当職員によるキャリアカウンセラー資格取得の推進や、カウンセリングのバックグラウンドデータとなる学生支援シートシステムのブラッシュアップ、未内定学生や既卒者のフォローアップなど、学生に対するカウンセリング機能の強化を進めてきた。こうして醸成された社会人基礎力と就業力の向上により、持続可能な社会の発展に寄与できる人材を育成することが、本プログラムの目的である。

到達目標

1. インターンシップ拡充の施策により、取組期間内に現状30社程度の受入先企業を200社以上獲得し、参加学生数を100名以上とする。
2. キャリアデザイン講座を導入・開講し、取組

期間内に専任教員及び卒業生を活用した独自の実施・運営へと移行する。また授業改善アンケートの評価点指標が4.0以上（最高5.0）とする。

3. カウンセリング機能の強化では、専任職員4名が高度な専門的知識を有する就職指導資格であるキャリアカウンセラー資格を取得する。

4. 学生支援シートシステムのブラッシュアップでは、利用者アンケートの評価点指標が4.0以上（最高5.0）とする。

プログラムの実施内容

1. 実施内容

本プログラムは、2009(平成21)年度から2011(平成23)年度までの3年間、以下の4つを柱に、学生のキャリア支援を実践。

①卒業生が活躍する企業、教員の研究関連企業、本学が関連する東急グループなどの各社からインターンシップ先を開拓し、学生に就業体験の機会を提供する。

②独自のキャリアデザイン講座を専任教員が企画立案し、開講することにより、学生の卒業研究と就職に関わるモチベーションを高める。

③職員のキャリアカウンセラー資格の取得により支援の高度化を図る。

④学生支援シートシステムをブラッシュアップし、サポート体制を向上させる。

2. 実施体制

取組全体については、教務委員会、学生部委員会、キャリア委員会を統括する大学運営戦略会議が推進役となり、実務は、教務委員会、学生部委員会、キャリア委員会と学生支援センター、キャリア支援センターが連動して行う。

プログラムの成果

1. 当該プログラムの周知方法等

学内では、どのような方法で周知徹底したのか。

全学に対しては、大学運営戦略会議が中心となり、教務委員会、学生部委員会、キャリア委員会を通じて周知を行い、さらに、学長をトップとしたインターンシップ推進プロジェクトを立ち上げ、学部毎に担当の教員を選出し、キャリア支援センター職員と連動して当該プログラムの周知徹底を行った。直接学生に対しては、インターンシップ等のガイダンス、学内ポータルサイト、ポスター貼付、インターンシップ検索システムを通じて情報提供を徹底した。

2. 当該プログラムの成果

①自己評価は、どのような観点で行ったか。

- ・インターンシップの拡充（受入企業数、参加学生数）
- ・キャリアデザイン講座の充実（受講学生数、受講学生の満足度、自主運営）
- ・カウンセリング機能の強化（相談担当職員の資格取得人数）
- ・学生支援シートシステムのブラッシュアップ（利用教員の満足度）

②到達目標に達したか。

- ・インターンシップの拡充

インターンシップ受入企業数は、2009(平成21)年度に約30社、翌2010(平成22)年度に約3倍の92社、2011(平成23)年度には当初の目標であった200社に対して186社と達成率93%、平成21年度の6.2倍となった。次に参加学生数は、2009(平成21)年度54名、2010(平成22)年度182名、2011(平成23)年度193名となり、目標であった100名以上を達成することができた。

- ・キャリアデザイン講座の充実

キャリアデザイン講座の受講者数は、2009(平成21)年度36名(3年生36名)、2010(平成22)年度267名(3年生36名、2年生231名)、2011(平成23)年度673名(3年生322名、2年生351名)となり、順調に増加できた。また、評価点指標4.0以上を目指した受講生の満足度については、2011(平成23)年度の講座で「授業内容はよく理解できましたか」との問いに、5段階評価で4.2、「授業内容は今後の勉学や社会生活に役立つと思えましたか」では4.4の高評価を得た。自主運営については、2011(平成23)

年度、3年生の講座は全て専任教員で行った。

- ・カウンセリング機能の強化

相談担当職員の資格取得人数は、2009(平成21)年度3名、2010(平成22)年度1名、2011(平成23)年度1名となり、目標であった4名を達成することができた。独自取得者を含めると、専任職員13名中8名が有資格者となり、外部の相談員の有資格者8名と合わせて計16名の体制となった。

- ・学生支援シートシステムのブラッシュアップ

利用教員の満足度について、学生支援シートシステムのブラッシュアップが終了した2011(平成23)年度にアンケート調査を実施し、学生個人の傾向に対応した個別の指導に有効活用できた等の意見があり、利用満足度は5段階評価で4.25と、目標であった4.0以上を達成することができた。

③具体的な成果は何か。

- ・インターンシップの拡充

「リーフレット」などを用いた受入企業開拓

企業訪問の実施により、企業の人材育成方針や学校教育に対する要望等を確認すると同時に、業界の最新情報や人材に対するニーズも把握でき、インターンシップを通じて参加企業との継続的な信頼、協力関係が構築された。また、社内の雰囲気や所在地等の情報も直接学生に伝えることができ、学生が安心して参加できる体制を整えることができた。

「インターンシップ受入企業検索システム」の開発

本学専用のインターンシップ検索システムを利用することにより、本学学生に対するインターンシップ情報を容易に入手することができるようになり、インターンシップの参加者の増加に繋がった。

就業体験を円滑に進める「ガイダンス」

ガイドブックやDVDを活用したガイダンスの実施により、学生はインターンシップの意義と目的についての理解を深め、インターンシップ参加時には実際の職場や仕事に対してスムーズに体験することができ、自己の職業適性やキャリアパスについて考える契機となると同時に、就職活動の方向性を具体的に検討するきっかけとなった。

受入先企業も参加する「成果発表会」を開催

企業での研修内容やそこで感じ、学んだ体験、成果を発表することで、本人の振り返りになることは勿論、プレゼンテーション能力を向上させ、同時に

次年度以降参加を希望する学生への情報提供と、インターンシップ参加意欲の向上にも繋げることができた。

・キャリアデザイン講座の充実

キャリア関連講座は、就職関連セミナー等と連携して就職活動の日程を考慮した授業内容とすることによって、より実践的な指導を行い、学生に行動するきっかけを与えることができた。2年生対象の「キャリア開発(1)」で「学びの意味」の理解から始め、3年生対象の「キャリア開発(2)」では、実際の就職活動に直結する内容を網羅した。学生の今後の勉学、卒業研究や就職へのモチベーションおよび学力の向上に重要な役割を果たした。また、学生からの就職に関する指導の希望が増し、学生と教員との距離を縮めることができ、学生・教員が一体となった就職活動の端緒ともなった。

・カウンセリング機能の強化

就職相談員（キャリアカウンセラー等）の常駐化による就職相談体制の強化により、学生への適切な助言、指導機会が増え、学生の就職活動に対する意欲の向上や、学生の適切な進路選択が可能となった。就職活動ピーク時にエントリーシートや面接対策等、学生への適切な助言・指導が強化されることにより、学生が自信を持って就職活動に取り組むことが可能となった。就職支援の強化が図られ、学生の就職相談件数も増加し、2012(平成24)年3月21日現在で就職内定率は93.0%と、前年同時期に近い結果を残すことができ、内定率の向上に寄与することができた。キャリアカウンセラー資格取得者による就職相談体制の充実により、学生がより主体的なキャリア形成の実現に向けた的確なアドバイスや支援が可能となり、学生たちが自律型のキャリア形成を行えるようになった。

・学生支援シートシステムのブラッシュアップ

学生支援シートシステムには、学生個々の学修記録、課外活動記録、そして1年生から3年生までのキャリア意識の変化を反映した進路適性試験結果が収録されている。就職支援面談に際して必要となる学生基礎データをWEB画面よりアンケート形式で入力できる機能の導入と、学生支援シートシステムとの連携する機能設計を行い、学生と教職員との間で双方向のやり取りが可能となる環境を構築することができ、進路適性試験結果だけでは得られない、学生の生の声を学生支援シートシステムに反映させ

ることが可能となった。

今後の計画

1. 当該プログラムの成果をどのように活用しているか。

・インターンシップの拡充

インターンシップ受入先企業の開拓ノウハウを活用して、国内だけに限らず海外も含めたインターンシップを拡大していく。また、学生のインターンシップ情報を検索するためのシステムが整ったので、新たな情報更新を都度行っていく。ガイダンスで活用したインターンシップガイドを更新していき、今後も実施していく。成果発表会開催による学内外への浸透を次年度も行っていく。

・キャリアデザイン講座の充実

当該プログラムにより実施したカリキュラムを基に、専任教員や非常勤講師の招聘による自主運営を行っていく。

・カウンセリング機能の強化

資格取得したキャリアカウンセラーの継続学習を行っていく。また、資格取得したノウハウを活かして、学生相談業務を行う他の職員に対する指導を行っていく。

・学生支援シートシステムのブラッシュアップ

今後も学生支援シートシステムへの継続的な情報の追加により、教員による指導と学生の成長度合い等、経年変化の分析を通じて効果的な学生相談業務に繋げていく。

2. 今後の計画

・インターンシップの拡充

2012(平成24)年度より現在の単位認定の仕組みである2週間2単位制を、1週間1単位制とするなど、受け入れ企業にとっても、参加する学生にとっても実効性の高い方法を模索していく。また、ワーキンググループを立ち上げ、海外に関連するインターンシップの実現にも尽力し、グローバルに活躍できる人材育成のため一層の力を注ぐ。昨年に引き続き、インターンシップガイダンスを6月に実施し、成果発表会を11月に開催することが決定している。

・キャリアデザイン講座の充実

昨年同様、2012(平成24)年度も2、3年生に開講する。

・カウンセリング機能の強化

月1回程度、定期的にカウンセリングの勉強会実施を計画している。

・学生支援シートシステムのブラッシュアップ

学生支援シートシステムは、今年度も1年生から3年生までの進路適性検査を実施し、学生支援シートシステムに最新の情報として取り込むことが決定している。

就職未内定者への支援策

1. 内定(内々定)のピークを過ぎても内定(内々定)を得られない者への支援策

2009(平成21)年度は後期に、2010(平成22)・2011(平成23)年度は前・後期に、少人数講座とその後の個別相談をセットにしたプログラムを実施した。講座で受講者の現時点での問題点を明らかにした上

で、個別相談を通じてその改善を行った。講座を受けさせるだけではなく、その後の個別相談をパッケージ化したことで、きめ細かなサポートができ、実際の内定獲得にも繋がった。さらに、2011(平成23)年度は、10月末時点で個別相談を継続利用している未内定者を対象に、「集団模擬面接会」を行い、その結果と学生個々の特性並びに学生自身の希望を踏まえて、その後の個別相談を中心とする支援体制の見直し・強化を図り、内定獲得までのサポートを行った。

2. 未内定のまま卒業した者への支援策

それまで個別相談を利用していた学生については、卒業時に本人の意思を確認し、継続して相談の希望がある場合は、卒業後も引き続き早期の就職を目指したサポートをした。また、希望者には企業から送られてくる既卒者向け求人票を閲覧できるようにした。

インターンシップの拡充に関する資料

インターンシップ求人社数、参加者数の推移と平成23年度求人企業一覧①

・インターンシップ求人社数、参加者数の推移（平成21年度～平成23年度）

| | 平成21年度 | 平成22年度 | 平成23年度 |
|--------------|--------|--------|--------|
| インターンシップ求人社数 | 30 | 92 | 186 |
| インターンシップ参加者数 | 54 | 182 | 193 |
| うち、単位認定者数 | 44 | 25 | 43 |

・平成23年度インターンシップ求人企業一覧（80社/186社）

| | |
|----------------------|---------------------|
| ASPAC株式会社 | 株式会社SCC |
| NRIデータiテック株式会社 | 株式会社アイ・アイ・エム |
| Olympicグループ | 株式会社アイベックス |
| アイシン精機株式会社 | 株式会社あきんどスシロー |
| いちよし証券株式会社 | 株式会社アクセス21 |
| イツ・コミュニケーションズ株式会社 | 株式会社アステック |
| イビデン株式会社 | 株式会社アドヴィックス |
| ウスイホーム株式会社 | 株式会社アドバンス |
| エムイーシーテクノ株式会社 | 株式会社あとらす二十一 |
| オートリブ株式会社 | 株式会社アルゴグラフィックス |
| クラリオン株式会社 | 株式会社アルプスツール |
| コーンズドッドウェル株式会社 | 株式会社ウィンシステム |
| コスモ技研株式会社 | 株式会社エクセル エクセルトラベル |
| コベルコ建機株式会社 | 株式会社エス・ティー・シー |
| ジェイアール東日本ビルテック株式会社 | 株式会社エスパス建築事務所 |
| システムバンク株式会社 | 株式会社オーク製作所 |
| シルバー電研株式会社 | 株式会社オーバル |
| シンレキ工業株式会社 | 株式会社オールアバウト |
| ソレキア株式会社 | 株式会社オブティム |
| テレフレックスメディカルジャパン株式会社 | 株式会社キッズベースキャンプ |
| 東京急行電鉄株式会社 | 株式会社クエスト |
| トーアエイヨー株式会社 | 株式会社クマヒラ |
| トッパン・フォームズ株式会社 | 株式会社クリアテック |
| トップ工業株式会社 | 株式会社グルメ軒屋 |
| パシフィックインタラクティブ株式会社 | 株式会社サイバーコネクトツー |
| パシフィックシステム株式会社 | 株式会社サココンサルタント |
| ヒューカラーズ株式会社 | 株式会社シーイーシー |
| ヒューマンズ・ネット株式会社 | 株式会社シーエスデー |
| フィリップス | 株式会社ジェイエスピー |
| ボッシュ株式会社 | 株式会社シミズ・ビルライフケア |
| ミツミ電機株式会社 | 株式会社セントラルシステムズ |
| 愛和食品株式会社 | 株式会社ソフィックス |
| 旭電機株式会社 | 株式会社ダイキエンジニアリング |
| 旭電設株式会社 | 株式会社ダイヤコーポレーション |
| 伊田テクノス株式会社 | 株式会社トステムズ |
| 遠鉄システムサービス株式会社 | 株式会社トランスコスモステクノロジーズ |
| 横浜市 | 株式会社ニコン |
| 株式会社NTTデータMSE | 株式会社ニチケアパレス |
| 株式会社NTTデータオーロラ | 株式会社ニッチュー |
| 株式会社RayArc | 株式会社ネットコムセック |

インターンシップの拡充に関する資料

インターンシップ求人社数、参加者数の推移と平成23年度求人企業一覧②

・平成23年度インターンシップ求人企業一覧（106社/186社）

| | |
|------------------------|-------------------|
| 株式会社ノバック | 岐阜県インターンシップ推進協議会 |
| 株式会社間組 | 京王電鉄株式会社 |
| 株式会社パプコ | 計画エンジニアリング株式会社 |
| 株式会社ハラサワ | 五洋建設株式会社 |
| 株式会社ピーエスシー | 構営技術コンサルタント株式会社 |
| 株式会社フォーラムエンジニアリング | 佐久市 |
| 株式会社フジタ | 三井共同建設コンサルタント株式会社 |
| 株式会社フューチャーフロンティアーズ | 三井住友建設株式会社 |
| 株式会社ポーラ | 三菱化学株式会社 |
| 株式会社ホクコン | 三菱電機株式会社 |
| 株式会社マネジメントシステムサービス | 山口県 |
| 株式会社メディクロス | 四国電力株式会社 |
| 株式会社ユードム | 社会医療法人河北医療財団 |
| 株式会社ワクシス・エンタープライズ | 社団法人東京都設備設計事務所協会 |
| 株式会社一条工務店 | 社団法人日本国際学生技術研修協会 |
| 株式会社荏原製作所 | 住友軽金属工業株式会社 |
| 株式会社宮本組 | 小原建設株式会社 |
| 株式会社銀座コージーコーナー | 小倉クラッチ株式会社 |
| 株式会社砂原組 | 昭和アステック株式会社 |
| 株式会社三上建築事務所 | 新日本空調株式会社 |
| 株式会社山田製作所 | 水ing株式会社 |
| 株式会社住軽日軽エンジニアリング | 西武建設株式会社 |
| 株式会社小笠原計器製作所 | 西武信用金庫 |
| 株式会社赤堀技研 | 静岡コンサルタント株式会社 |
| 株式会社創協同設計事務所 | 千代田テクノエース株式会社 |
| 株式会社創和測量コンサルタンツ | 川崎市男女共同参画センター |
| 株式会社損保ジャパン | 川田工業株式会社 |
| 株式会社太平エンジニアリング | 太建工業株式会社 |
| 株式会社大塚商会 | 大村技研株式会社 |
| 株式会社中央設計技術研究所 | 中央電気工事株式会社 |
| 株式会社中村組 | 帝蚕倉庫株式会社 |
| 株式会社長津製作所 | 東プレ株式会社 |
| 株式会社東急ハンズ | 東急テクノシステム株式会社 |
| 株式会社東急ホテルズ | 東急リバブル株式会社 |
| 株式会社東急リゾートサービス | 東急建設株式会社 |
| 株式会社東急レクリエーション | 東急車輛製造株式会社 |
| 株式会社東急設計コンサルタント | 東急不動産株式会社 |
| 株式会社東急百貨店 | 東京計装株式会社 |
| 株式会社東京エネシス | 東京地下鉄株式会社 |
| 株式会社東計電算 | 凸版印刷株式会社 |
| 株式会社東洋製作所 | 日欧産業協力センター |
| 株式会社東和コンピュータマネジメント | 日神不動産株式会社 |
| 株式会社道路計画 | 日本空調サービス株式会社 |
| 株式会社日立ファルマエヴォリューションズ | 日本原子力発電株式会社 |
| 株式会社日立プラントテクノロジー | 日本財団学生ボランティアセンター |
| 株式会社日立製作所 | 日本生命保険相互会社 |
| 株式会社富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ | 日本発条株式会社 |
| 株式会社富士通総研 | 日立水戸エンジニアリング株式会社 |
| 株式会社平成建設 | 能美防災株式会社 |
| 株式会社本牧ビルサービス | 不二輸送機工業株式会社 |
| 株式会社両毛システムズ | 福井県 |
| 株式会社浅沼組 | 有限会社エー企画 |
| 関東航空計器株式会社 | 鈴与建設株式会社 |

インターンシップ拡充に関する資料

企業向けインターンシップ案内リーフレット (表裏面)

歴史と実績を礎に、さらに良質の教育を実践し、「より有為な人材」を輩出し続けます

本学の前身である武蔵工業大学は、戦後から80年の歴史の中で優れた研究活動を行い、多くの有為な人材を社会に輩出してまいりました。

卒業生の多くが現在も各方面の第一線で活躍しており、技術者・研究者あるいは経営者として、日本の科学技術の発展に寄与しております。こうした卒業生の実績もあり、本学では極めて良好な就職率を誇っております。

また、本学は2009年4月、これまでの工学部、知識工学部、環境情報学部、都市生活学部、人間科学部に加え、社会・技術・環境・情報、そして生活・福祉までの広い領域を網羅する「東京都市大学」としてスタートいたしました。

「工学を基盤に持続可能な社会発展をもたらすための人材教育と学術研究」を理念とした大学創りをすすめてまいります。

今後も学生一人ひとりが個性を生かし、将来の夢を実現できるよう、教職員、卒業生一丸となって早期から総合的であり、確かなキャリア形成支援を展開してまいります。

企業の皆様におかれましては、永年の実績に加え、こうした新しい教育を担われた本学学生にインターンシップの場をお貸し頂きますようお願い申し上げます。

(旧 武蔵工業大学)

東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

キャリアセンター

TEL 03-5707-0104 (代表)

〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1
FAX 03-3703-7239 E-mail: sccareer@tcu.ac.jp

お互いを知る、価値ある出会い。

各キャンパス キャリアセンターのお問い合わせ先

| | |
|---|--|
| <p>工学部・知識工学部 (世田谷キャンパス)</p> <p>〒158-8557 東京都世田谷区玉堤1-28-1 TEL: 03-5707-0104(代表)</p> |  |
| <p>環境情報学部 (横浜キャンパス)</p> <p>〒224-8551 神奈川県横浜市都筑区千歳保西3-3-1 TEL: 045-910-2525(ダイヤルイン)</p> |  |
| <p>都市生活学部・人間科学部 (等々力キャンパス)</p> <p>〒158-8586 東京都世田谷区等々力8-9-18 TEL: 03-5760-0104(代表)</p> |  |

ホームページもご覧ください
<http://www.tcu.ac.jp/recruitng/>

TOKYO CITY UNIVERSITY

TOKYO CITY UNIVERSITY
INTERNSHIP

(旧 武蔵工業大学)
東京都市大学
TOKYO CITY UNIVERSITY

東京都市大学からインターンシップのご案内



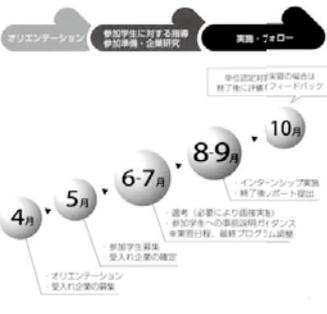
文部科学省「大学教育・学生支援推進事業」(学生支援推進プログラム)に採択されました

テーマは、「少人数専門教育と「改め」のインターンシップ」による就職支援です。本取り組みは、学生のキャリア形成支援のためのインターンシップを積極的に推進していく事を目的とするものです。

学生の職業意識の醸成、技術習得の意欲増進、そして就職活動の一助として、企業の現場における職場体験や就業体験の受け入れをお願いして参ります。

また、単位認定型のインターンシップはもちろみ、実践・研修・体験型についても社会、企業との協力を得て実施しております。本学学生にぜひ就業体験の場をご提供頂きますよう、お願い申し上げます。

インターンシップのスケジュール



4月: オリエンテーション 受入れ企業の編成

5月: 参加学生募集 受入れ企業の確定

6-7月: 選考(必要により面接実施) 参加学生への事前説明(ダンス※実施日程、最終プログラム調整)

8-9月: インターンシップ実施 終了集、レポート提出

10月: 事後フォロー(必要に応じて) 終了集レポート提出

工学系
工学部
知識工学部

文系
文理複合系
環境情報学部
都市生活学部
人間科学部

工学系、文理複合系学部に加え、5学部16学科体制で

- ・ 未来社会のテーマに取り組み次世代のエンジニア
- ・ 地球環境とIT社会の持続可能な発展に貢献する専門家
- ・ 都市文化を創造するクリエイター など

東京都市大学は幅広い分野の人材を育成します。

インターンシップの実施内容

| | |
|----------|---|
| 実習期間 | 8～9月(原則) |
| 期間 | 単位認定/概ね2週間(実質10日程) 単位認定以外/3日-5日等(実習内容により別途調整) |
| 対象学生 | 本学在籍の学部生、および大学院生 |
| 待遇(実習条件) | ・ 無給 ・ 旅費、交通費、昼食費は各社の規定によります。(原則、個人負担) ・ その他については各社の規定によります。(通勤不可能な場合の宿泊場所、被服費等) ・ 傷害保険、賠償責任保険等は各自加入します。 |
| 実施内容 | 実習テーマ、実習プログラムは各社毎に設定をお願いします。 アルバイトでは経験できないような社員担当業務の組み入れを希望します。 |

※上記は一般的な事例です。実施内容は各社での設定となります。

| | | |
|-----|--------|--|
| 理工系 | 工学部 | ・ 機械工学科 ・ 機械システム工学科 ・ 原子力安全工学科 |
| | 知識工学部 | ・ 生体医工学科 ・ 電気電子工学科 ・ エネルギー化学科 ・ 建築学科 ・ 都市工学科 |
| 複合系 | 環境情報学部 | ・ 情報科学科 ・ 情報ネットワーク工学科 ・ 経営システム工学科 |
| | 都市生活学部 | ・ 自然科学科 |
| 文系 | 環境情報学部 | ・ 環境情報学科 ・ 情報メディア学科 |
| | 都市生活学部 | ・ 都市生活学科 |
| | 人間科学部 | ・ 児童学科 |

インターンシップ拡充に関する資料

学生向けインターンシップガイドブック（表紙と目次ページ）



キャリアデザイン講座の充実にに関する資料
平成 23 年度 キャリア開発(1)のシラバス

| | | | |
|---|------|-------------|---|
| 授業科目名： キャリア開発(1) | 必修科目 | 単位数： 1単位 | 担当教員名： 穴田 一.井上 泰日子.佐藤 正知.高木 晋作.兪 明連 |
| <p>授業の到達目標及びテーマ</p> <p>グループディスカッション等を通して、「自分」、「社会」、「学問とのつながり」等について考え、社会に対して自ら行動する能力と共に、他人とのコミュニケーション力を養成する。</p> <p>[深く関連(◎)あるいは関連(○)する学習教育目標]</p> <p>◎(B) (コンピューティングとメディア工学)</p> | | | |
| <p>授業の概要</p> <p>将来、就職して社会人となるための準備を行うための科目である。人生を有意義に過ごすために、「生き方」や「働き方」について考えることにより、現在における「大学生活の過ごし方」を見直し、自分自身の長所や短所の発見方法や、他人とのコミュニケーション方法について学習する。</p> | | | |
| <p>授業計画</p> <p>第1回：キャリアデザインって何だろう？</p> <p>第2回：自分について考えよう</p> <p>第3回：あなたの強みは？</p> <p>第4回：社会で生きる</p> <p>第5回：社会が求める人材って？</p> <p>第6回：コミュニケーションは社会のベース</p> <p>第7回：業界について考える</p> <p>第8回：業界調査発表と職種・資格について考える</p> <p>第9回：職種調査発表と研究室紹介</p> <p>第10回：社会と学問の関係は？</p> <p>第11回：「学び」の意味を考えよう</p> <p>第12回：私のキャリアデザインマップ</p> <p>第13回：プレゼンテーション準備</p> <p>第14回：1分間スピーチ</p> <p>第15回：まとめ</p> | | | |
| テキスト 別途指示 | | | |
| 参考書・参考資料等 別途指示 | | | |
| <p>学生に対する評価</p> <p>平常点を45%、レポートやワークシート等の課題提出を55%とし、6割以上を合格とする。</p> | | | |

キャリアデザイン講座の充実にに関する資料
平成 23 年度 キャリア開発(2)のシラバス

| | | | |
|---|------|-------------|------------------|
| 授業科目名： キャリア開発(2) | 必修科目 | 単位数： 1単位 | 担当教員名： 井上 泰日子 |
| 授業の到達目標及びテーマ 将来のキャリア形成、企業や企業を取り巻く環境の理解、及び円滑に就職活動を進めるための準備を十分に行う。 | | | |
| 授業の概要 将来のキャリア形成、企業や企業を取り巻く環境の理解、及び円滑に就職活動を進めるための準備。 | | | |
| <p>授業計画</p> <p>第1回：オリエンテーション</p> <p>第2回：キャリアセンターの紹介</p> <p>第3回：就職活動の基本と対策</p> <p>第4回：インターンシップの解説</p> <p>第5回：企業、及び企業を取り巻く環境の理解（グループディスカッション）①</p> <p>第6回：企業、及び企業を取り巻く環境の理解（グループディスカッション）②</p> <p>第7回：企業研究（レポート作成と発表）①</p> <p>第8回：企業研究（レポート作成と発表）②</p> <p>第9回：エントリーシート、履歴書など</p> <p>第10回：個別企業研究（学内の企業説明会の有効活用）</p> <p>第11回：企業が求める人材とは</p> <p>第12回：コミュニケーション能力</p> <p>第13回：面接対策（1）</p> <p>第14回：面接対策（2）</p> <p>第15回：まとめ</p> | | | |
| テキスト 別途指示 | | | |
| 参考書・参考資料等 別途指示 | | | |
| <p>学生に対する評価</p> <p>出席・受講態度（講義に熱心に参加しているかどうか）：80%</p> <p>講義途中で実施するレポート（テーマは「企業研究」を予定）：20%</p> | | | |

キャリアデザイン講座の充実に関する資料

授業改善アンケート（講義用）書式

授業改善アンケート（講義用）

このアンケートは授業担当教員が、学生の皆さんとともに、授業改善を図る目的で実施するものです。あなたの成績には全く関係ありませんので、答えて下さい。授業を受けたあなた自身あるいは授業担当教員等に対して以下の項目に関する評価を5点法でマークして下さい。

注意事項

- カードは汚したり白けたりしないで下さい。
- 鉛筆はHB又はBを使用して下さい。
- マークはていねいに塗りつぶして下さい。

正しい例 ○ ◻ ◻ ◻

悪い例 ○ ◻ ◻ ◻

授業
科目名 _____

担当
教員名 _____

学籍番号(上4桁)

| | | | |
|----|----|----|----|
| 0 | 1 | 2 | 3 |
| 00 | 00 | 00 | 00 |
| 10 | 10 | 10 | 10 |
| 20 | 20 | 20 | 20 |
| 30 | 30 | 30 | 30 |
| 40 | 40 | 40 | 40 |
| 50 | 50 | 50 | 50 |
| 60 | 60 | 60 | 60 |
| 70 | 70 | 70 | 70 |
| 80 | 80 | 80 | 80 |
| 90 | 90 | 90 | 90 |

| | | | | | |
|-----------|-----------|-----------|------------|-----------|-------|
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 | 0 |
| 全く当てはまらない | やや当てはまらない | どちらともいえない | あまり当てはまらない | 全く当てはまらない | 当てはまる |
| 悪い例 | 悪い例 | 悪い例 | 悪い例 | 悪い例 | 悪い例 |

- 1 授業への出席を心がけ、遅刻しないよう努めましたか。 5 4 3 2 1 0
- 2 授業に集中し、レポート作成や私語をしないよう心がけましたか。 5 4 3 2 1 0
- 3 分からない部分について質問をしましたか。 5 4 3 2 1 0
- 4 予習や復習を十分に行いましたか。 5 4 3 2 1 0
- 5 教員は遅刻せずに授業を開始し、授業時間を有効に使いましたか。 5 4 3 2 1 0
- 6 休講をほとんどせず、休講した場合には必要に応じて補講を行いましたか。 5 4 3 2 1 0
- 7 教員は十分な準備と熱意で授業を行いましたか。 5 4 3 2 1 0
- 8 教員が授業で話す言葉は明確で聞き取りやすかったですか。 5 4 3 2 1 0
- 9 教員は学生の理解度を確認し、必要に応じて補足しましたか。 5 4 3 2 1 0
- 10 教員は黒板やOHP、その他の設備を有効に使いましたか。 5 4 3 2 1 0
- 11 教員は私語などの講義を妨害する不適切な行動をやめましたか。 5 4 3 2 1 0
- 12 教員は質問に適切に対応しましたか。 5 4 3 2 1 0
- 13 演習や小テストは授業の理解に役立ちましたか。 5 4 3 2 1 0
- 14 レポートや宿題は授業の理解に役立ちましたか。 5 4 3 2 1 0
- 15 教科書や配布資料は分かりやすいものでしたか。 5 4 3 2 1 0
- 16 授業内容はよく理解できましたか。 5 4 3 2 1 0
- 17 授業展開は授業計画（シラバス）に沿ったものでしたか。 5 4 3 2 1 0
- 18 受講してみて基礎知識が必要と思いましたか。 5 4 3 2 1 0
- 19 授業内容は今後の勉学や社会生活に役立つと思いましたか。 5 4 3 2 1 0
- 20 講義室の広さや席数は適当でしたか。 5 4 3 2 1 0
- 21 その他 [_____] 5 4 3 2 1 0
- 22 その他 [_____] 5 4 3 2 1 0

裏面に、この授業と教員と自分自身について自由な意見等を書いて下さい。

カウンセリング機能の強化に関する資料

キャリアカウンセラー資格受講者一覧

平成21年度

| | |
|-------|---|
| 名前 | 吉田重幸 |
| 資格名 | 米国CCE, Inc. 認定GCDF-Japan キャリアカウンセラー |
| 受講開始日 | 平成21年12月5日 |
| 受講終了日 | 平成22年3月20日 |
| 受講場所 | 東京都港区新橋1-18-21 第一日比谷ビル7F キャリアカウンセリング協会 GCDF-Japan事務局 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 名前 | 鈴木正志 |
| 資格名 | 日本キャリア開発協会 キャリア・ディベロップメント・アドバイザー |
| 受講開始日 | 平成22年1月10日 |
| 受講終了日 | 平成22年3月28日 |
| 受講場所 | 東京都千代田区神田東松下町47-1 日本マンパワー本社 |

| | |
|-------|----------------------------------|
| 名前 | 野口尚美 |
| 資格名 | 日本キャリア開発協会 キャリア・ディベロップメント・アドバイザー |
| 受講開始日 | 平成22年1月24日 |
| 受講終了日 | 平成22年4月11日 |
| 受講場所 | 東京都千代田区神田東松下町47-1 日本マンパワー本社 |

| | |
|-------|-----------------------------------|
| 名前 | 井出志保 ※ |
| 資格名 | 日本キャリア開発協会 キャリア・ディベロップメント・アドバイザー |
| 受講開始日 | 平成22年1月10日 |
| 受講終了日 | 平成22年3月14日 |
| 受講場所 | 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2-20-3 第5安田ビル 2F |

※資格取得に向け勉強中

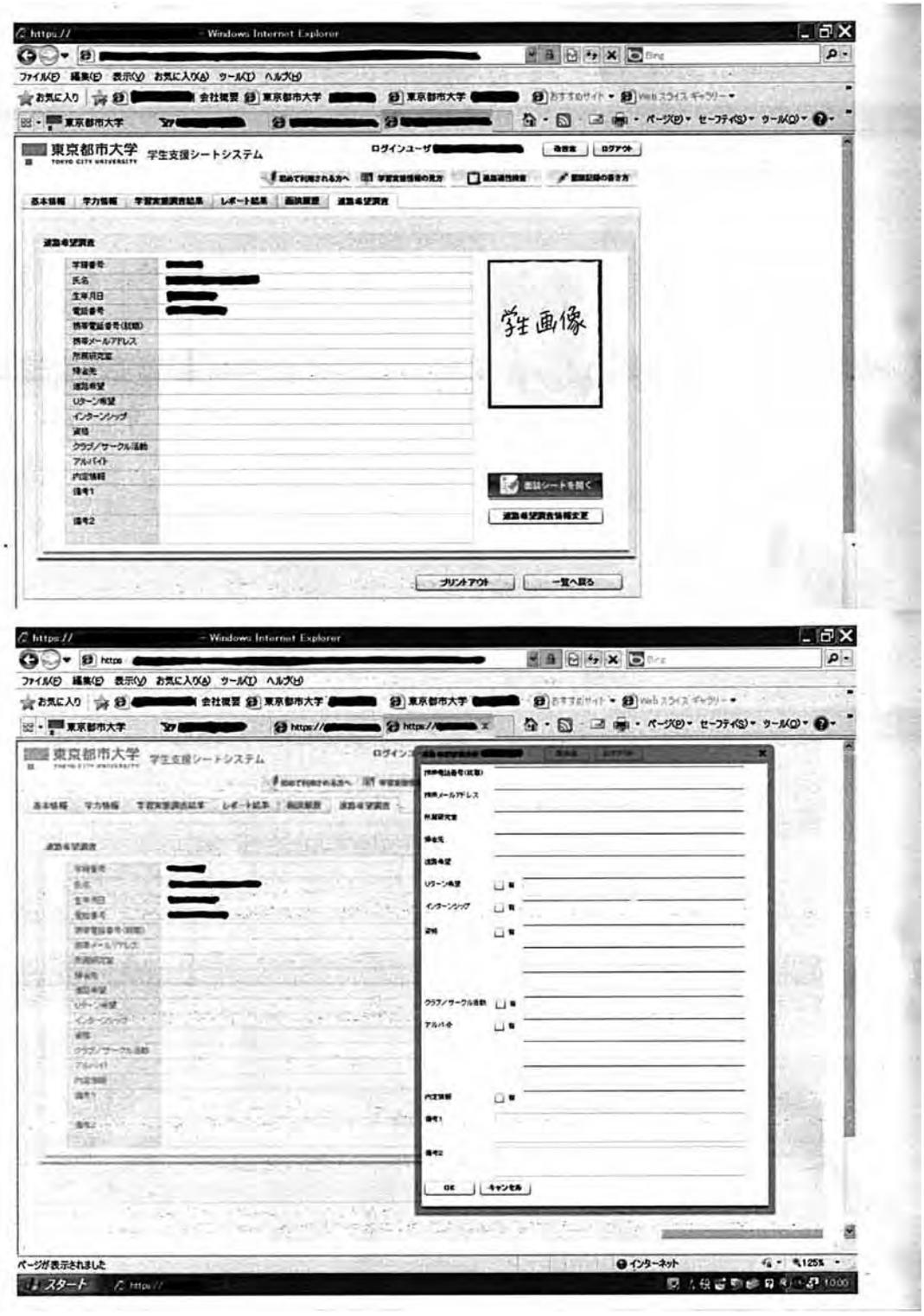
平成22年度

| | |
|-------|---|
| 名前 | 渡邊真理子 |
| 資格名 | 米国CCE, Inc. 認定GCDF-Japan キャリアカウンセラー |
| 受講開始日 | 平成22年6月26日 |
| 受講終了日 | 平成22年9月18日 |
| 受講場所 | 東京都港区新橋1-18-21 第一日比谷ビル7F キャリアカウンセリング協会 GCDF-Japan事務局 |

平成23年度

| | |
|-------|---|
| 名前 | 益子昌博 |
| 資格名 | 米国CCE, Inc. 認定GCDF-Japan キャリアカウンセラー |
| 受講開始日 | 平成23年6月25日 |
| 受講終了日 | 平成23年9月10日 |
| 受講場所 | 東京都港区新橋1-18-21 第一日比谷ビル7F キャリアカウンセリング協会 GCDF-Japan事務局 |

学生支援シートシステムのブラッシュアップに関する資料
 学生支援シートシステムの就職支援画面（下図は入力画面）



評価結果

評定：S

評定理由（総論）

これまで培ってきた教育的財産（工科系単科大学での少人数専門教育など）を有効に活かしながら、しかも、単に学生への支援という次元に止まるのではなく、教職員や卒業生のネットワークのよさも取り込みながら攻めの就職支援を行なっていくという姿勢が明確であり、そのことが本プログラムを優れたものにしてている。

「攻めのインターンシップ」の充実、キャリアデザイン講座の開設、専任教員のキャリアアドバイ

ザー等の資格取得増加、学生支援シートシステムの拡充など、当初の目標通り取組が実施されており、当初達成度指標にそって適正に成果が示されている。

また、課外活動および正課教育、さらに就職支援体制とその相談の基礎となる学生情報の蓄積システムの整備がバランス良く展開されている。

このように、到達目標とその達成のための方法もよく現状をふまえて工夫されており、このことが学生の就職支援や就職内定などの好結果につながっている。今後これらのプログラムの成果を一層発展させることによって効果が期待される。

実地視察報告

視察日：2012(平成24)年11月29日（木）



総評

本プログラムは、下記の4本の柱で構成され、そのそれぞれについて到達目標を数値で明示しており、プログラム実施期間の3年間で、その数値目標をほぼ達成している。

実地視察では、これらの目標達成に向けてどのような特色ある取組が行われたのかを確認した。

①学生に就業体験の機会を提供するためのインターンシップ先の拡充

本学を設置する学校法人が東急グループと関連するという強みもあって、ほぼ200社のインターンシップ先の確保を実現した。企業が参加する成果発表会も実施し、プレゼンテーション能力も培っている。インターンシップについては、企業からも学生の成長が感じられるとの評価が得られている。現在、この経験を活かし、外国企業等と関係のある教員の参画を得て、海外へのインターンシップ先の拡

大に取り組んでいる。

②専任教員による独自のキャリアデザイン講座の開講

企業での就業経験のある教員を中心に本学の教員によるオリジナルの内容で実施されているキャリアデザイン講座は、単なる就職支援ではなく、大学での学習のモチベーションを高めることを目指している。年々、履修学生数も増加しており、教員も学生の学習意欲が高まってきたことに手応えを感じるなど、学生と教員の相乗効果により内容の充実が図られているとの回答を得た。

③職員のキャリアカウンセラー資格の取得による支援の高度化

目標を上回る5名の職員がキャリアカウンセラーの資格を取得しただけでなく、自主的に資格取得した職員もおり、全キャンパスに有資格職員を配置している。外部のキャリアカウンセラーだけに頼ることなく、職員が自信を持って任務にあたっている。

キャリア支援の方針は、学生の自律性を育てることにあり、学生の相談も、依存型から自分で考えるという姿勢へと変化が見られるとのことである。

④学生支援シートシステムのブラッシュアップとサポート体制の向上

学生支援シートは、学生に対して的確な助言・指導を行えるように、学生ごとに学修記録や適性試験の結果などが記録されたシートである。学生支援シートの活用により、学生との面談で適切なアドバイスができるようになったことから、全キャンパスでの運用を目指している。

以上のことから、本プログラムが就職支援に有効に機能するとともに、今後も着実に推進される体制にあると確認することができた。

個別事項

学生3名へのインタビューでは、各人とも大学による就職支援に満足しているとの回答を得た。特に、インターンシップが学生の進路決定に少なからず影響を与えていることが判った。

ただ、学生支援シートについては、3名ともその存在を知らなかった。シートは、教職員向けに作られたものであり、そのこと自体に問題があるわけではないが、学生が自身の学習の軌跡を振り返ることを目的とした学習ポートフォリオとこの学生支援シートを連携させるなどして、学生自身が成長の記録を確認できるようになると、さらに充実した支援体制が構築できるのではないかと考えられる。